

(仮称) 綾瀬インターチェンジ



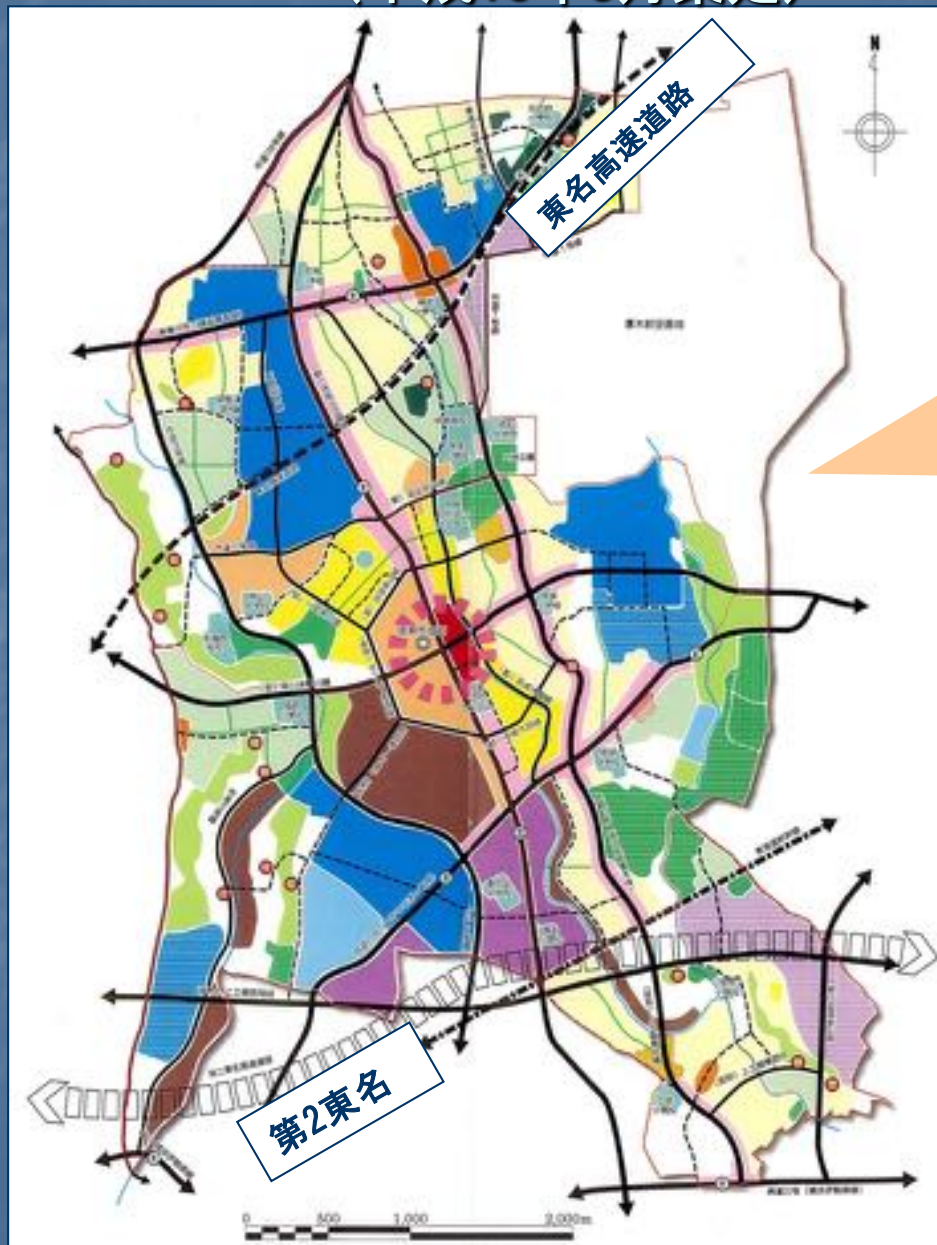
平成19年1月

市の概要

- 行政面積:22.28km² 、 厚木基地:395ha(18%)
- 人口:81,670人、世帯数:30,093世帯(平成18年4月1日現在)
 老年人口(65歳以上):12,905人、構成比:16%
- 市の財政 (平成18年度当初予算)
 - 一般会計 234億5千万円
 - 特別会計 176億6千万円
 - 合計 411億1千万円
- 市の産業
 - 事業所数:3,181社、従業者数:37,392人(平成13年10月)

●あやせ都市マスタープラン

(平成13年3月策定)



まちづくりの柱

◆生活への支援

「快適な都市生活の創造」

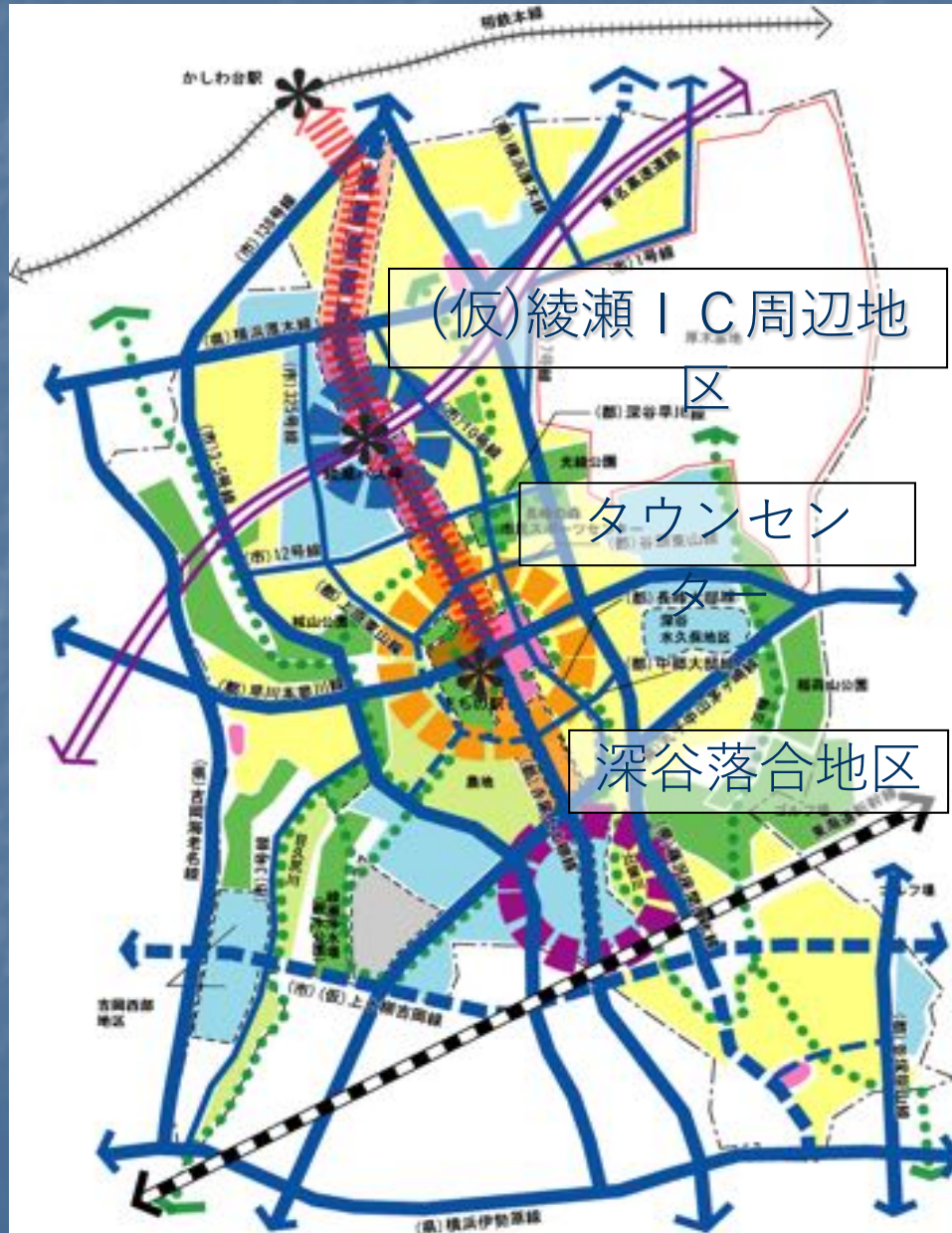
◆産業への支援

「産業の活性化と新たな産業拠点の創出」

◆交通への支援

「交通利便性が高い施設・機能の配置」

●地域活性化計画案



●綾瀬ICの検討体制

●綾瀬市

ICによる独自性のあるまちづくりの推進

- ☆市民の利便性向上
- ☆地域経済の発展
- ☆環境影響への対応



効果・影響を踏まえたまちづくりの検討

●神奈川県

県土の均衡なる発展に向けたICの設置

- ☆県央・湘南地域県民の利便性向上
- ☆地域経済の活性化への寄与
- ☆既存IC周辺の渋滞緩和



IC形態の検討

環境への影響調査

● これまでの取り組み

平成12年4月

地域活性化IC制度の創設

平成13年9月

綾瀬市IC設置検討協議会の設立

… 市民の代表組織

平成15年5月

綾瀬IC設置促進連絡協議会の設立

… 7市1町の首長組織

平成15年8月～

県知事に設置要望書の提出

平成15年12月
～17年3月

IC設置に関する検討調査実施

… 委員会組織により
検討

平成17年8月～
17年12月

オープンハウス(パネル展・アンケート)

… 市民の意見・要望
の把握

平成18年～

対話集会(IC設置検討箇所周辺)

● IC整備による効果と影響

東名高速にICを整備することにより、次のような効果と影響が想定されます。

<<効果>>

- 整備が進められている活性化計画の支援・促進に寄与
- 交通が便利になり市民生活の質的向上に寄与
- 高速道路に直結することで産業の振興に寄与
- 企業の進出により、働く場の増加に寄与
- 人・モノ・情報の広域的な交流の拡大に寄与

<<影響>>

- 交通渋滞の発生
- 通過交通の増加
- 交通事故の増加
- 環境の悪化

● 検討地付近の状況図

この検討状況は、平成17年度時点のもので、変更になる場合もあります。



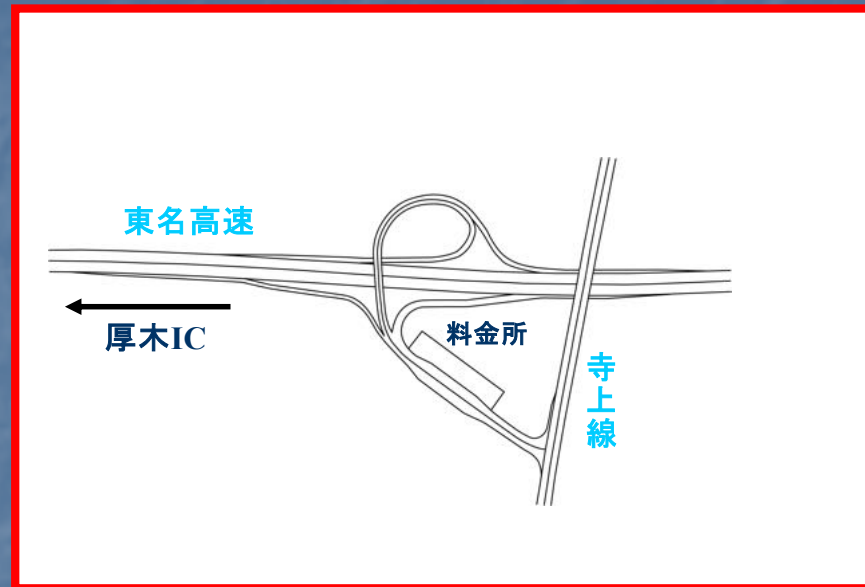
●IC形式の検討

平成17年度県検討状況

トランペットA型



トランペットB型



不完全クローバー型



● 有料道路事業の採算性

1. 収入

・IC利用交通量	22,000台/日
・IC利用料金	100円(普通車)
横浜町田～綾瀬	550円(〃)
綾瀬～厚木	450円(〃)
(現行)横浜町田～厚木	650円(〃)

●償還期間約30年間の収入合計 約230億円

2. 支出

・IC本体建設事業費	約100億円
・維持管理費及び借入金利息等(約30年間)	約130億円
●償還期間約30年間の支出合計	約230億円

● 今後のスケジュール(予定)

分組	項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	30年度
神奈川県	IC形態比較検討 採算性の検討	●	●					
	予備設計		●	●				
	環境調査			●	●	●	●	
	都市計画手続き			- - -	- - -	- - -	●	
	路線測量 詳細設計						●	●
綾瀬市	上位計画見直し			●	●	●	●	
	関連プロジェクト 計画策定		●	●	●	●	●	●

供用予定

●ICの配置と高速道路の計画

